



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート

第9号(2008年5月2日)



キング・アブドラ・エコノミックシティ港

ドバイの大手不動産デベロッパーであるエマールのグループ企業で、サウジアラビアの株式市場の上場企業でもあるエマールECと世界的な港湾運営企業であるドバイのDPワールドは、サウジアラビアのキング・アブドラ・エコノミックシティ(KAEC)の港湾の開発運営に関する覚書に調印しました。KAECはエマールによって開発される中東地域最大級の民間プロジェクトです。もともとはサウジアラビア総合投資院(SAGIA)が発案したのですが、政府の関与はできるだけ少なくし、開発用地を安価で提供する等の協力にとどめ、基本的には民間主導で開発が行われております。総事業費270億ドルで、面積は168平方km、100万人の雇用と200万人の居住者を生み出す巨大プロジェクトです。KAECは、港湾地区、工業地帯、セントラル・ビジネス地区(商業、小売、金融、混合エリアを含む)、リゾート地区、教育地区、居住区の六つのエリアで構成されており、この港は紅海沿いでは最大級の規模になり、世界でもトップ10位に入る規模になります。(無きにしもアラブ)



出所:エマール



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



世界最大級のショッピングモール

世界最大級のショッピングモールということで完成前から注目を浴びているUAEのドバイ・モールですが、今年8月末にオープンすることが、先日、開発会社のエメールより発表されました。いったいどのくらい大きいのかというと、敷地全体でなんとサッカー場50面分に相当するそうで、その中には大型のデパートを含めて1200店舗のショップと120店舗のレストランが誘致されるとのこと。サッカー場50面分と言われてもどのくらい大きいのかあまり想像できませんが、店舗数から想像しても見て回るのに何日かかることやら...途方にくれてしまいますよね。

でもバーゲンの時は、ゆったりしていていいかもしれません。

(グッドバイ)



出所:エメール



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。

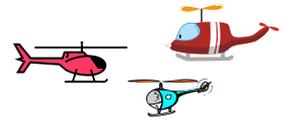


『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



ドバイの空が交通渋滞？



ドバイでは、車の交通渋滞がひどいことが問題になっていますが、今度は空の交通渋滞が発生しそうですね。というのも、実は今、ドバイを訪問するビジネスマンの移動手段として、ヘリコプターが盛んに利用され始めているからなのです。今まではヘリコプターのチャーターといえば、ドバイ空港から高級ホテルのブルジュ・アル・アラブまでで約30万円、といったかなり贅沢な利用方法が主流であったのですが、最近ではビジネスマンがドバイからアブダビを行き来するのに利用する一人2~3万円程度の乗り合いヘリコプターなども登場し、今後さらにヘリコプター利用者の増加が予想されています。そこで今、チャーター会社では、このヘリコプター利用者の増加に伴う空の交通渋滞や空の交通事故を心配しているのです。確かに超高層ビルの多いドバイの空が、ヘリコプターだらけになったら、空で交通事故が起こっても不思議ではありませんよね。

一刻も早い、道路や鉄道などの交通機関の整備が望まれるところです。

(グッドバイ)

コーヒーブレイク4



中東の生活に深く根差すコーヒー。UAEでは1ディルハム硬貨にコーヒー・ポットが描かれているほどです。1ディルハムはUAEの硬貨の中では最も高価なもので、因みに紙幣では1000ディルハムまであります。ディルハムの下の単位はフィルス。10フィルス以下の硬貨はほとんど使われないそうですが、法定通貨のため、中央銀行は小額フィルス硬貨の発行はやめられないそうで、フィロソフィーを感じます。さて、コーヒーの楽しみ方はいろいろありますが、中東ではコーヒー占いも人気があります。トルコ・コーヒーのような粉っぽいコーヒーを飲む地域では、コーヒーを少し残し、そのカップを皿の上にひっくり返して、ぐるぐる回しながら、それが固まってきたところで、カップを開いて中を覗き、粉っぽいコーヒーの残りの模様を診て占いをするそうです。その判断は様々ですが、例えば、魚のような形であれば、お金が流れてくるなどという卦となるそうです。因みにコナ・コーヒーではこのような占いはできません。

トルコ・コーヒーを飲む喫茶店があれば、コーヒー占いを楽しむのも良いかもしれません。しかし、コーヒー占いに興じすぎ、時間の経過を忘れると、マスターから怒られるかも知れません。

「もうコーヒー売らないっ！」

(みんなのGULF)



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



【ご参考】 中東(GCC)地域の株価推移
(各市場の直近3ヶ月)

ドバイ金融市場総合指数



アブダビ証券取引所株価指数



バーレーン全株指数



サウジアラビア タダウル全株指数



カタール DSM指数



クウェート証券取引所指数



オマーン マスカットMSM30指数



出所:ブルームバーグ



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。